

第5回 JEITA プリントドエレクトロニクス セミナー ～ IoT社会を実現する基盤技術と標準化戦略 ～

プリントドエレクトロニクスは、導電性／半導体／絶縁インクなど各種印刷技術を駆使して電子デバイスを製造する技術で、Society 5.0 (超スマート社会) を実現する基盤技術となることが期待されています。特に近年は、急速に発展するIoT技術のキーテクノロジーとして、技術開発、ビジネス展開及び関連する国際標準化の動きが活発になっており、産業動向は目が離せない状況となってきております。今回は、IEC/TC119 (プリントドエレクトロニクス) の国際標準の開発動向をはじめ、当該分野の最新製品開発動向等について紹介致します。

申込はコチラ ▶ https://www.jeita.or.jp/cgi-bin/form_tss/form.cgi

日 時 : 2020年1月29日 (水) 14:00～17:00 (受付開始 13:30)
場 所 : 東京ビッグサイト 会議棟 6階 610会議室 <http://www.bigsight.jp/access/>
参加費 : 無料 (事前申し込みが必要です、申込期限: 2020年1月27日(月))
主 催 : 一般社団法人電子情報技術産業協会 プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会

Program

司会 前田 修一 JEITA プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会副委員長 (CEREBIA)

14:00	開会挨拶 佐藤 忠伸 プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会 委員長 (富士フイルム㈱)
14:05 - 14:40	基調講演 これからの日本の標準化の動向と政策 山本 克己 氏 (経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課 課長補佐) 〔概要〕 国際標準化を取り巻く昨今の状況と、我が国の取り組みや方向性などについて紹介頂くとともに、企業のビジネス戦略に標準化を活用した事例など、標準化の重要性について紹介頂く予定です。
14:40 - 15:20	プリントドエレクトロニクス国際標準化の最新状況とビジネス動向 佐藤 忠伸 JEITA プリントドエレクトロニクス標準化専門委員会委員長 (富士フイルム㈱) 〔概要〕 プリントドエレクトロニクス (PE) は、今後急速に普及が期待されるIoT社会の実現に欠かせないキーテクノロジーの1つであり、市場の立ち上がりに先立つ形で、国際標準化が活発に議論されています。最近はその動きに変化がみられ、IEC/TC119国際標準に関わるプレイヤーや提案される規格の中身もシフトしつつあります。こういった変化を含めた様々な切り口から、PE国際標準化の現状と変化の兆しを紹介します。
休憩15分	
15:35 - 16:15	リチウムイオン二次電池製造へのインクジェット印刷技術の応用 栗山 博道氏 株式会社リコー イノベーション本部 PB開発推進センター PBT-PT シニアスペシャリスト 〔概要〕 本講演では、インクジェット印刷技術による、リチウムイオン二次電池のアナログからデジタル製造への変換に関するリコーの取り組みを紹介する。電気自動車からウェアラブルデバイスなど、蓄電池の多様化する利用シーンに応じ、安全性やフレキシブル性といった付加価値を有する蓄電池製造を可能にすると期待する。
16:15 - 16:55	高精細印刷に向けた導電性銀ナノ粒子インクの開発 熊木 大介 氏 株式会社フューチャーインク 取締役副社長・CTO 〔概要〕 ㈱フューチャーインクでは、インクジェット印刷や反転オフセット印刷などの微細印刷装置向け金属ナノ粒子インクの開発と印刷プロセス開発を行っています。本講演では、低温焼結型の銀ナノ粒子インクを使った微細印刷の開発成果、およびそれらを使ったシートセンサ技術についてご紹介いたします。
16:55 - 17:00	総括・閉会挨拶 菅沼 克昭 氏 (大阪大学 教授・TC119国内委員会委員長)

プログラムの内容につきましては、変更となる場合もありますので予めご承知おき下さい